平成 28 年度 №. No. 4-1													
担 部 局 名 教育委員会													
第	5	次結城市	総合計画	実施計画策定	及び行政部	平価シー	当課	名 学校教	育課				
部 係 名 学務係													
1	_	事業の概要	<b></b>				署記力		雷	話(内線) 624			
	(4) 東洲廷則 (0) 東京東洲												
	_		新規		学校図書館運	営事業(中	学校)			優先度	Α		
	[新規又は継続] <b>イバクル</b> の名称 (4) 総合計画での位置づけ						(0) 古米子	- / <del>-  </del>	+	一一一一一一一一一			
							(6) 事業主		市				
_	_	業の区分	主要事業			_	(7) 予算• 財源等		事業の性質 一般事業費(ソフト事業)				
(2	)施	(策コード	41108	(総合計画掲載	(総合計画掲載ページ 114「 ページ)				一般会計				
基	本	目標(政策)	4未来を担う子と	もと地域を支える市民	(教育・文化)	の種別	財源区分	市単独					
1	基本	本施策 4-1生きる力を育む教育環境づくり(学校教育)						予算科目	款項				
Ť	拖策	[	①教育内容σ	 )充実				予算書上の					
Ť	施策	内容	8学校図書館	 の運営				事業名称	(予算書	^゚ージに掲	載)		
			開始	年	月から		(8)事務分類		自治事務	, , , , , ,	5 1747		
()	/ <del>J</del>		終了		月まで(	力年)	根拠法令		口心于初				
				年	HACC	7147	依拠活工	כ					
	•		的及び内容			I ( - )							
(1				何に対して行う	のか)				な状態になるの				
	生征	走及び教職」	員			生徒は	読書活動を	通じて言葉を学	が、想像力を豊	かにする。生徒	上が読		
									生徒が読書に対				
									けさせたい。また きま活動を広げ				
極的に学校図書館を使い生徒に読書活動を広げられるようにする。											<b>o</b> o		
(0)	· -	· cn. /== \\		トミナーレナゲ	= 04)								
(2				ようなことを行									
				管理システムの更 ベースを中学校図									
	大	はエハチ収り	J <i>o</i> 707 ) —'y'	、一人を中子校凶	<b>雪王殿音I∼</b> 孤								
							開始のきっ	かけや他市の	の状況など				
									の場合は記入	(の必要なし)			
						国にお	国における読書推進事業計画策定,予算措置を受け,読書活動の奨励						
							を加速した。						
(5) 事業をとりまく環境の変化(社会環境,市民ニーズ等)や市民・議会の要望,意見等とそれに対す								する対応					
司書教諭が多忙で停滞しているので、現在小学校に設置している学校図書館システムについて中学校にも導入し、記							読書活動の推	進を図					
	<b>వ</b> .												
		- 11/											
3	. =	事業コス	<u> </u>										
		行政評価	実績	責内容の評価	10-1	75.34							
		実施計画			検討	• 改善		検討・	・ 改善内容を反映	Į			
	予算	算内訳		実績額(千円)	当初予算額	額(千円)		計画額	<ul><li>見込額(千円)</li></ul>	1)			
	اً		 <b></b>	27 年			29	年度	30 年度	31	年度		
			בוניוא ב	21 4	20	十尺	29	<b>平</b> 及	50 年及	01	十尺		
		委託料	s 111 .1.1										
		使用料及び	<b>下</b> 賃借料										
(													
	車												
	事業												
1	費												
$\smile$													
事務事業費													
業		合計											
費		国庫支出金	会 (千円)										
質のコスト		県支出金	(千円)										
		地方債	(千円)										
	源		三財源 (千円)										
		一般財源	(千円)										
		合計	(千円)										
		++ C+ +- '-											
		補助•起債	制度名										

4. 指標の検証(活動指標・成果指標)												
指標の名称							27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	
(1	)涅	動:	指標(実施した									
	目標値											
	指標				実績(見)	込)値						
	偿				目標	値						
					実績(見)	込)値						
(2	)向	课:	指標(事業実施	による	るめざす姿の達成度	<u>(</u>						
					目標	値						
					実績(見)	込)値						
	指 標-				達成	率	%	%				
	信	日標値 実績(見込)付 達成率										
							%	%				
5.		業	評価									
(1	(1)平成27年度の行政評価結果をうけて,平成27年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。											
(2	(2) 項目別評価											
評価項目•客観的評価 理由												
									7.0			
业	要性		事業の必要性	Α	必要性は高い							
			 実施主体の									
	妥当性		妥当性	A 妥当である								
3			T. (1), (2) T. 1/4 A									
			手段の妥当性	Α	妥当である							
	効率性		コスト効率									
交			人員効率	Α	改善の余地はない							
	公平性		- \ - \ - \ - \ - \ - \ - \ - \ - \ - \	A FIGHES Let								
2			受益者の偏り	Α	偏りは見られない							
	有効性		# # # # # # # # # # # # # # # # # # #	D どたことナミラブ		,						
1=			成果の向上B		どちらとも言えない							
\ <u>د</u>	進捗度		事業の進捗	D	どちらとも言えない	`						
廷	上が	支	争未り延抄	В	こりりこも言えない	1						
(3	)総	合語	平価 上記評価を	を踏ま	えて事業全体につ	いて評価	むし, 問題点・	課題等を指	商してくださ	い。		
学	校晶	目で	読書環境に差が	出ない	ように工夫する。							
(4	(文	応き	(東・提言等 こ)	の事業	を今後どのように	改善·改	革をしていきる	ますか?				
学	校区	書	館管理システム	を更新	し、現在小学校のみ	<sub>・</sub> のデー:	タベースを中学	校図書館蔵書	書に拡げる。			
6. 事業の方向性判断												
			平価主体		度以降の事業の方向性			評価理	<b>聖由・根拠</b>			
(1	) 言己		5評価									
記入者が評価を行う					'おり要求	注)記:	注)記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。					
						, / до /	近八日は13. 尹未計111世]を記載9るにめ,この懐は木記人で結構で9。					
(2)一次評価 生徒(							売書活動に、必要	な事業である。	0			
担当課長が評価を行う												
					00 / 50/10							
(3) 最終評価 上記評価のとおり。												
Ü												
	ᄪ	四向	整会議において			I						

評価を行う